

天文学とプラネタリウム

第29回



www.tenpla.net

深夜の研究室は空腹との戦いです。この問題さえ解決できれば心おきなくご飯を買いに行けるのに…という時は、往々にして問題が解決できず、深夜まで研究室に残る羽目になります。そんな時にふと、探査機で撮られた綺麗な惑星の写真が目に入ると、おいしそうに見えるんです…。木星を見るとキャラメル、月を見ると砂糖菓子、エウロパを見ると氷飴。最初にナマコを食べた人も、きっと同じ気分だったに違いありません。惑星がおいしそうに見えるなら、そんなお菓子を作ってしまうえば良いのです。今回は、宇宙を食べて楽しもうというお話です。

惑星チョコ

惑星の形や色を再現するならば、チョコレート菓子になってしまうのが一番簡単そうです。しかし、それだけではあまり面白くありません。最新の惑星科学の成果を反映して、内部構造にもこだわった作りをすべきでしょう。例えば地球なら、中心から順番にどろっとしたジャム（内核）、堅い飴（外核）、柔らかいチョコ（マン

トル）、堅い薄い表面（地殻）。木星型惑星チョコならば、地球チョコの上に綿飴のようなふわとしたものでコーティングなどなど、様々な工夫が出来るそうです。口の中に放り込むだけで、惑星の内部構造までわかってしまう惑星チョコ、食べてみたくないですか？

まだまだ広がるお菓子の宇宙

もっとお手軽にお菓子にしてしまうのならば、形を模したクッキーにしてしまうのが楽ちんです。天プラでは、先日行われたプロペラ星空間望会にて、お客さんに星座クッキー（アラザンを星座の形に配置）や土星クッキー（土星の型を作成）などを配布しましたが、大変好評でした。クッキーほどお手軽ではありませんが、和菓子で色々作ってみるのも面白そうですね。ヘンゼルとグレーテルのように、お菓子の宇宙を作りたいものです。このコラムを読んだ皆さんも、ぜひ挑戦してみてください！（そして、完成品の写真を送って下さいませ）

今月のお題

食べて楽しい宇宙

宇宙にはおいしそうな天体が満ちあふれています。最新の天文学を食べて楽しんでみませんか？

■フランスでもATPの人気沸騰中？



天プラメンバーによる手作りクッキー。あなたもぜひ作ってみませんか？



国際天文学連盟の研究会のためプラハにやってきた平松（左）。詳しい報告は星ナビ次号のこのコラムで。研究打ち合わせのためにインドに行った高梨（右）。アジア最大の望遠鏡があるVainuBappu天文台にて。